

# 第1回さいたま市公民館運営審議会 議事録

## 1 開催日時

令和8年1月22日（木） 10時00分から11時30分まで

## 2 開催場所

生涯学習総合センター 10階 多目的ホール

## 3 出席者

〈委員：9名〉

- ① 石井 博 委員
- ② 磯田 三津子 委員
- ③ 太田 祐子 委員
- ④ 小林 玲子 委員
- ⑤ 島田 正次 委員
- ⑥ 富田 敏弘 委員
- ⑦ 深田 弘行 委員
- ⑧ 森田 真紀子 委員
- ⑨ 若原 幸範 委員

〈拠点公民館職員：8名〉

- |               |        |
|---------------|--------|
| ① 西 区 指扇公民館   | 菅野 剛史  |
| ② 北 区 大砂土公民館  | 武笠 充裕  |
| ③ 中央区 鈴谷公民館   | 貫井 直美  |
| ④ 桜 区 田島公民館   | 舟腰 祐子  |
| ⑤ 浦和区 岸町公民館   | 河原塚 政行 |
| ⑥ 南 区 文蔵公民館   | 桑原 健司  |
| ⑦ 緑 区 大古里公民館  | 酒井 浩志  |
| ⑧ 岩槻区 岩槻本丸公民館 | 石関 達   |

〈事務局：5名〉

生涯学習総合センター

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| ① 館長            | 杉本 達洋 |
| ② 副館長           | 大城 冬樹 |
| ③ 主幹兼事業・企画係長    | 山田 浩行 |
| ④ 事業・企画係主事      | 小暮 裕貴 |
| ⑤ 事業・企画係社会教育指導員 | 田山 基子 |

#### 4 欠席者

〈委員：3名〉

- ① 桑原 静 委員
- ② 白石 徳一郎 委員
- ③ 西形 恵美子 委員

〈拠点公民館職員：2名〉

- ① 大宮区 桜木公民館 細井 規夫
- ② 見沼区 大砂土東公民館 茂木 深雪

#### 5 議題等

- (1) さいたま市公民館運営審議会について
- (2) 生涯学習総合センター・公民館について
  - ・組織概要について
  - ・さいたま市公民館ビジョンについて
  - ・事業について
- (3) 審議内容（案）について
- (4) 今後の会議日程（予定）について
- (5) さいたま市公民館運営審議会から委員を推薦している会議等について

#### 6 配布資料

- (1) 次第
- (2) 席次表
- (3) 委員名簿
- (4) さいたま市公民館運営審議会概要【資料1】
- (5) 第13期さいたま市公民館運営審議会 審議内容（案）について【資料2】
- (6) さいたま市公民館ビジョンに基づく取組評価について【参考】
- (7) 今後の会議日程（予定）について【資料3】
- (8) さいたま市公民館運営審議会から委員を推薦している会議等について【資料4】
- (9) 令和7年度さいたま市公民館要覧
- (10) さいたま市公民館ビジョン

#### 7 公開・非公開の別

公開

#### 8 傍聴者の数

0名

## 9 会議

会議は委員の半数以上が出席しているため、成立。

## 10 内容

- ・冒頭、委員の委嘱及び自己紹介、拠点公民館長の自己紹介、事務局職員の自己紹介を行った。続いて、委員長・副委員長の選出を行い、委員の互選により委員長は若原幸範委員、副委員長は磯田三津子委員が就任した。
- ・さいたま市公民館運営審議会の概要、生涯学習総合センター・公民館の概要、審議内容（案）、今後の会議日程（予定）、さいたま市公民館運営審議会から委員を推薦している会議等について、事務局より説明を行った。

|      |   |
|------|---|
| 深田委員 | <p>3点伺いたい。</p> <p>1点目、公民館の分布について、さいたま市内60館の公民館の配置を確認したところ、区ごと、また旧大宮・与野・浦和・岩槻といった旧市単位で見た場合に、公民館の集中度に大きな差がある。教育の公平性の観点から、過去にこの点について議論されたことがあるのか知りたい。</p> <p>2点目、使用料について、光熱費をはじめ各種コストが上昇している中で、利用料の見直しは行われてきたのか。</p> <p>3点目、支払方法について、利用者にさいコインの利用を促しているのか、また使用料の徴収にさいコインを使用できるのか。</p>  |
| 事務局  | <p>公民館の分布について、合併前の旧市ごとで、公民館整備の方針が異なっていた。施設数としては、自治会連合会地区単位に1施設を原則としている。今後新設する場合は、他のコミュニティ施設の状況や時代のニーズを踏まえ、単独施設ではなく複合施設として整備する方向で検討している。また、市全体として、稼働率が著しく低い公民館については、改善策を講じても状況が変わらない場合、廃止も検討対象となる。</p> <p>使用料について、現在、公民館では使用料を徴収しておらず、さいコインによる使用料の支払いも行われていない。一方で各種コストの上昇や受益者負担の考え方についても認識しており、市として公共施設の使用料の見直しを検討しているところである。公民館は長い歴史を持ち、地域との結びつきが強い施設であるため、使用料の扱いについては慎重な検討が必要と考えている。</p> |
| 深田委員 | <p>各公民館の登録団体数について、数百団体から、1,000団体を超えるところまで幅がある。現在の登録団体数は、最新の実態を反映した正確な数字なのか、見直しが必要な古いデータが混在しているのかを確認したい。</p>   |
| 事務局  | <p>現在の登録団体数は、登録されている団体の総数であり、実際に活動していない団体も含まれている。団体の精査については、2年間利用がない団体は、予約ができない状態になるが、3年目に活動を再開する団体もあるため、その場合は手</p>   |

|       |  |
|-------|--|
|       | 続きを経て有効期限を延長している。そのため、団体側からの申請がない限り、事務局側で一方的に登録抹消はできない。  |
| 若原委員長 | 直近2年間で活動実績のある団体数を抽出することは可能か。   |
| 事務局   | システムの機能として、物理的には可能と思われるが、現時点では明確にお答えできない。機能を確認し、抽出方法を検討したい。  |
| 深田委員  | 公民館の基本方針に「地域的課題に対応した学習機会を提供」とあるが、そもそも地域課題をどのように把握しているのかを知りたい。具体的に、課題の把握は誰が行うのか、市として一定の方針や指針があるのかを確認したい。  |
| 事務局   | 公民館の基本方針・事業方策では、公民館が取り組むべき内容を体系化し、地域課題の解決に向けた方向性を示している。この基本方針・事業方策に基づき、各公民館で事業が実施されるため、各公民館が取り組んでいる事業内容を共有し、どのような事業が行われているか、各事業の実績、アンケート、現場の活動状況、地域住民との接点で得られる情報等から課題の把握に努めている。  |
| 小林委員  | 過日、委員を務めている社会教育委員会議に参加した際に、グループワークの中で頻繁に出てきたキーワードが、「社会教育主事（社会教育士）」の存在と役割であった。社会教育の専門知識を持つ社会教育主事の配置が十分でない点が課題として挙げられた。また、生涯学習ビジョンとの関連で、学びを地域づくりにつなげる支援の一環として、活動をつなぐコーディネーター・交流を促すファシリテーター・情報を発信するレポーターといった人材の育成が重要だと考えるが、公民館としては世代間ギャップ・役割の周知不足などの課題があり、十分に機能していない現状がある。公民館が地域に必要な情報をどう届けるか、またその負担をどう軽減するかが課題だと感じている。特に、社会教育支援者やアドバイザー的な人材をどのように増やしていくかは、今後の重要なテーマの一つではないかと考える。さらに、AIを含むデジタル技術が急速に普及する中で、公民館職員のスキル向上は避けて通れない課題である。そういったこともふまえて、社会教育主事や地域コーディネーターのような人材の育成・活用がより重要になるのではないかと考える。 |
| 若原委員長 | 小林委員の意見は、生涯学習ビジョン・公民館ビジョン・図書館ビジョンの三つが連動して策定された経緯をふまえても重要な視点である。今後の議論では、公民館職員のスキル向上、地域の中でコーディネーターとなる人材の育成が大きな論点になると考えている。現行ビジョンの振り返り、次期ビジョンの検討の両面で、人材育成と役割の明確化は避けて通れないテーマである。   |
| 深田委員  | 公民館ビジョンに基づく取組評価について確認したい。取組評価は全公民館が対象なのか、特定の公民館のみなのか。ホームページに掲載されている資料を確認したところ、植水公民館と与野本町公民館には「取組評価」と「実績報告書・推薦書」がある。他の8館については同様の資料があるのか。公民館職員が他館の評価状況を見ることで、「自館でも真似できる」「ここが伸びている」「参考に   |

|     |   |
|-----|---|
|     | なる／ならない」といった“生の声”が得られるはずである。これらは次期ビジョン策定において極めて重要な材料になると考えている。  |
| 事務局 | 今回、取組評価を実施したのは植水公民館と与野本町公民館の2館であり、ホームページで公開されている資料は、その2館の取組評価に関する資料をまとめたものである。一方で、評価対象の公民館を選定する際に使用した「実績報告書・推薦書」については、全公民館分をさいたま市公民館ビジョンのホームページに掲載している。各公民館の取組シートと実績報告書は、毎年全公民館分をホームページで公開しており、館同士でも共有している。 |

#### 11 その他

本審議会の議事録を本市ホームページに公開していること、委員の氏名が公開となることを確認した。

#### 12 閉会